

外国語学研究科 英語学専攻（博士課程前期課程）

2026 年 2 月 13 日

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
専攻科目（英語学）	氏 名：	

1 以下の問題について正しいものを1つ選び、記号に○をつけよ。

問 1 言語学において「言語能力（competence）」を指すものとして最も適切なのはどれか。

- A. 話者が内面的にもつ文法知識
- B. 社会的場面に応じた言語使用の巧拙
- C. 実際の発話における誤用や言い直し
- D. 音声器官の生理的能力

問 2 構造主義言語学において、一つの言語体系の内部における音・語・文などの言語単位は、どのように定義され则认为られているか。最も適切なものを選び。

- A. 各単位はそれ自体の実体的性質によって定義される
- B. 各単位は、同一体系内の他の単位との相互関係によって定義される
- C. 各単位は、話者個人の使用頻度によって定義される
- D. 各単位は、歴史的起源によって定義される

問 3 音素（phoneme）として最も適切な定義はどれか。

- A. 音声信号として観測される最小単位
- B. 調音運動の最小区間
- C. フォルマント構造によって定義される単位
- D. 意味の違いを区別する機能をもつ抽象的単位

問 4 屈折（inflection）と派生（derivation）の違いとして正しいものはどれか。

- A. 屈折は語の品詞を変える
- B. 派生は統語的要求によって決まる
- C. 屈折は文法的情報を表す
- D. 派生は必ず意味を変えない

問 5 次のうち、統語構造の階層性を最もよく示す現象はどれか。

- A. 語順の自由度
- B. 曖昧文の存在
- C. 音声的同化
- D. 語彙的多義性

問 6 真理条件意味論の基本的考え方として正しいものはどれか。

- A. 意味は話者の感情によって決まる
- B. 文の意味はその文が真となる条件で定義される
- C. 意味は文脈に完全に依存する
- D. 意味は語用論とは無関係である

問 7 会話の含意 (conversational implicature) の特徴として正しいものはどれか。

- A. 常に文法的に明示される
- B. 取り消しが不可能である
- C. 文脈や推論に依存する
- D. すべての言語で同一である

問 8 言語類型論の目的として最も適切なものはどれか。

- A. 一つの言語を詳細に記述すること
- B. 言語の優劣を決定すること
- C. 言語変化の速度を測定すること
- D. 言語間の構造的共通性と多様性を明らかにすること

問 9 歴史言語学における通時的音変化に関して、「規則性仮説 (regularity hypothesis)」が主張する内容として最も適切なものはどれか。

- A. 音変化は例外なく一定の環境で生じる
- B. 音変化は意味によって左右される
- C. 音変化は個々の語ごとに独立して起こる
- D. 音変化は話者の意識的選択である

問 10 現代言語学において、内省データの限界として最も適切なものはどれか。

- A. 実験に用いることができない
- B. 音声データを含まない
- C. 理論構築に役立たない
- D. 話者の直感が常に一致するとは限らない

問 11 次のうち、音韻論的単位を最も適切に表すものはどれか。

- A. スペクトログラム上のフォルマント
- B. 調音運動の連続的变化
- C. 話者が同一と判断する抽象的な音のカテゴリ
- D. 音声信号の周波数成分

問 12 最小対 (minimal pair) が示すものとして正しいものはどれか。

- A. 二つの音が調音的に異なること
- B. 二つの音が意味の違いを区別する音韻であること
- C. 二つの語が同じ語源をもつこと
- D. 二つの音が自由変異にあること

問 13 次の特徴集合のうち、音韻論的自然クラスを形成しやすいものはどれか。

- A. [+両唇], [+歯音]
- B. [+破裂音], [+母音]
- C. [+有声], [-連続]
- D. [+高], [+低]

問 14 一般に、母音の F1 (第 1 フォルマント) が低い場合に対応する調音的特徴はどれか。

- A. 舌が低い
- B. 舌が高い
- C. 舌が後ろにある
- D. 唇が非円唇である

問 15 範疇知覚 (categorical perception) の特徴として正しいものはどれか。

- A. 知覚判断が連続刺激に対して非線形に変化する
- B. 範疇内弁別が高い
- C. 刺激の物理的差異が常に知覚差に比例する
- D. すべての音声対立を説明できる

問 16 母音間に位置する子音が弱化しやすい主な理由として最も一般的なのはどれか。

- A. 調音運動の負担を軽減するため
- B. 知覚的区別を高めるため
- C. 韻律境界を明確にするため
- D. 音韻的対立を増やすため

問 17 語末で /t/ と /d/ の対立が失われる現象は、音韻論的に何と呼ばれるか。

- A. 同化
- B. 相補分布
- C. 中和
- D. 自由変異

問 18 最適性理論 (Optimality Theory) において、出力候補の優劣を決定する要因はどれか。

- A. 音韻規則の適用順序
- B. 調音器官の生理的構造
- C. 音声的実現の物理的制限
- D. 制約のランキング

問 19 音韻的対立が必ずしも明確な音声的差として現れない理由として最も適切なものはどれか。

- A. 音韻対立は常に中和されるため
- B. 音声データが常に不完全であるため
- C. 話者が音韻規則を意識的に操作するため
- D. 音声的実現が文脈や韻律条件によって勾配的に変化するため

問 20 音声学・音韻論の研究成果が、一般言語学にとって重要である理由として最も適切なものはどれか。

- A. 音声現象がすべての言語研究に優先するから
- B. 言語の普遍性と多様性を実証的に検討できるから
- C. 統語構造を直接説明できるから
- D. 意味変化を予測できるから

[illegible]

記述欄が足りない場合は裏面を使用して良い

③ 代表的な口頭修正フィードバックのタイプを分類・説明した後，それぞれが学習者に与える効果の違いについて論じなさい。

[illegible]

記述欄が足りない場合は裏面を使用して良い